

第245回教育研究評議会議事要録

1. 日 時 平成27年7月7日（火） 13:30～17:25
2. 場 所 事務局 第2会議室
3. 出席者 中井学長、功刀副学長、三浦副学長、神子副学長、
千葉副学長、
千葉人間発達文化学類長、朝賀評議員、松下評議員、
久我行政政策学類長、田村評議員、鈴木評議員、
真田経済経営学類長、阿部評議員、佐野評議員、
二見共生システム理工学類長、山口評議員、佐藤評議員、
小島統括学系長、中村事務局長
【オブザーバー】青柳理事、高橋監事、平山監事
4. 欠席者 小沢副学長

5.

審議事項

1. ガバナンス総点検について（最終報告）（案）について
2. 教員人事について
3. 教育研究組織の見直しについて

報告事項

1. 平成27年度学長裁量経費（改革促進経費）の配分について
2. 平成26年度決算について
3. 平成28年度概算要求について
4. 河合塾「大学生の学習経験調査」パイロット調査について
5. 平成26年度期末監事監査結果について
6. 平成26年度内部監査の改善措置報告について
7. 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業COC+申請について
8. 福島大学教職大学院設置の検討状況について
9. その他
 - ・福島大学附属図書館リニューアルオープン記念事業について
 - ・平成27年度大学改革セミナーについて

【確認事項】

第244回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) ガバナンス総点検について（最終報告）（案）について

各学類長から、資料1に基づき、第243回教育研究評議会（6月9日開催）において審議した後、各学類教員会議へ意見聴取していた最終報告（案）について戻り報告があった。

出された意見は以下のとおりである。

- ① 学類長の選考は、学長が各学類からの候補者名簿を参考にしながらとあるが、具体的にはどういうことか。名簿外から選出されることはないのか。また各学類で名簿を作る際、その選考方法は各学類で決めていいとあるが、学類毎に方法が違うのは問題ではないか。
- ② 今後、各学類教員会議で聴取された意見はどう扱われるのか。
- ③ 事務局長の学外理事化について、再任の制限が設けられていないが、もし学外理事がふさわしい人材でなかった場合、評価によっては解任することはできるのか。

中井学長から、意見を受け、①学類の作成した名簿を元に決定したいが、承諾してくれなければ名簿にない人を選ぶことがあるかもしれない。各学類からは、学類長をきちんと承諾してくれる人を選んでほしい、また各学類での選考方法については各学類で違って問題ないと考えている、②教員会議へは案件に応じて意見聴取を行う。教員に関わるなど重要な件は慎重に判断したい。また出された意見は、適切な意見であれば採用することもありうる、との説明があった。また副学長の負担軽減のために、「生涯学習」については、研究・地域連携担当から、学術情報・大学間連携担当に移したいとの発言があった。

審議の結果、一部修正の上、承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料揭示の上、報告することとした。

(2) 教員人事について

中井学長から、「国立大学法人福島大学職員任免規程」第20条の規定に基づき、行政政策学類教員1名の休職の延長について提案があった。

また、久我行政政策学類長から、延長の事由や期間等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

(3) 教育研究組織の見直しについて

各学類長から、第242回教育研究評議会（5月19日開催）において審議した後、各学類教員会議へ意見聴取していた本議題について戻り報告があった。

出された主な意見は以下のとおりである。

- ① 人事を一元管理した場合、学類教育に責任が持てなくなるのではないか。
- ② 各部局と全学の人事のバランスをどう取るのかは、案件に応じてということだが、ある程度目に見える形での仕組みが必要なのではないか。
- ③ 教員人事戦略室会議を教育研究院会議に移行する必要性、目的は何なのか。
- ④ 教育研究院会議と全学人事委員会の業務分担はどうなるのか。
- ⑤ 共通教育のノルマ管理はどこが行うのか、教育研究院会議は全学的にノルマ管理を透明化するいい場になるのではないか。

意見を受け、功刀副学長から、①財政が厳しくなってきた状況の中で、各学類だけではもう責任を持てないから効率的に一元化した方がいいという判断がでてきた、②共通教育などについて、どういう形になるのかは現在具体的ではないが、学類と全学のバランスを取るための仕組み作りをこれからしていきたい、③教員人事戦略室会議と教育研究院会議は、審議事項は変わらないが、今までのように部局で採用し部局に所属して働くということではなく、教員の包括的所属組織を作り、全学的な所属先として人事の管理と再配分を行う、またそういった意識を教員に持ってもらいたい、④教育研究院会議と全学人事委員会の業務分担はまだ決まっていないが、職員の人事は人事委員会で行うため、なくなることはないだろう、⑤全学のノルマ管理については、共通教育委員会で行うべき事項もとの認識である、という説明があった。

審議の結果、教育研究院は来年4月から設置されることで、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

【報告事項】

(1) 平成27年度学長裁量経費（改革促進経費）の配分について

中井学長から、資料2に基づき、平成27年度学長裁量経費（改革促進経費）の配分について報告があった。

質疑では、アクティブラーニングに関する事業がいくつも挙げられていることから、それらをまとめてやってみることや、交流するといいいのではないか、成果発表会などで交流する機会を持つことを作ることもいいのではないかという意見が出された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) 平成26年度決算について

功刀副学長から、資料3に基づき、6月30日に文部科学省に提出した平成26年度決算について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(3) 平成28年度概算要求について

功刀副学長から、資料4に基づき、7月22日が提出メ切となっている平成28年度概算要求について、報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(4) 河合塾「大学生の学習経験調査」パイロット調査について

神子副学長から、資料5に基づき、河合塾から依頼のあった標記調査内容についての説明と、参加を決定したことの経緯について報告があった。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

(5) 平成26年度期末監事監査結果について

平山・高橋両監事から、資料6に基づき、平成26年度期末監事監査結果について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(6) 平成26年度内部監査の改善措置報告について

監査室長から、資料7に基づき、平成26年度内部監査の改善措置について報告があった。

質疑では、出張報告書の提出日付が自由に設定できる等、システム上の問題があるのではないかという意見が出された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(7) 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)申請について

中村事務局長から、資料8に基づき、7月1日に文部科学省に申請した地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)事業について概要の報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(8) 福島大学教職大学院設置の検討状況について

千葉人間発達文化学類長から、資料9に基づき、人間発達文化研究科の改編による教職大学院の構想案及び作業の進捗状況について報告があった。

質疑の中で、千葉人間発達文化学類長から、今ある人間発達文化研究科の中に教職大学院を設置する構想で考えていること、教員の定員については検討中である、との説明があった。

また質問として①平成30年度を目途に研究教育組織の再編を行うことが全学的

確認であると思うが、29年4月教職大学院発足のスケジュールは問題ではないか、②富山大の人間発達科学部は「一般学部の上に教職大学院は作れない」ということで人間発達研究科とは別に教職大学院を作ろうとしている。また、一昨年のミッションの再定義で人間発達学類も教員養成とは異なる人材育成理念の明確化の課題を確認しており同様ではないか。また一般研究科の中に教職大学院をつくれるのか、などがあった。

千葉人間発達文化学類長から、①当初から平成29年度開設を目指して検討しており、平成30年度前後という中に平成29年度は含まれていると考えている。また研究科の中での改編ということもあり、全学に影響があるとは考えていない、②現在ある人間発達文化研究科にある教職教育専攻を取り出し、教職実践専攻を教職大学院として設置する構想であり、また文部科学省大学振興課との打ち合わせにおいても、現研究科の中に教職大学院を設置することについて問題ないという回答をいただいている、との説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(9) その他

・福島大学附属図書館リニューアルオープン記念事業について

千葉副学長から、資料10に基づき、7月16日開催予定の福島大学附属図書館リニューアルオープン記念セレモニー、及び7月18日開催予定のトークショーについてアナウンスがあった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

・平成27年度大学改革セミナーについて

役員室長から、資料11に基づき、7月29日開催予定の平成27年度大学改革セミナーについてアナウンスがあった。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。